

1 概況

各地区の摘採は、冷蔵網では1～3回目、秋芽網では3～7回目を実施しています。
植物プランクトンは概ね全域で増加傾向です。特に知多西岸地区中部及び知多東岸地区で顕著に増加しました。栄養塩は先週と比べると、ほとんどの地区で減少傾向となりました。知多西岸地区北部と西三河地区中部を除く漁場で、栄養塩は不足しています。
気温の高い日が続きますので、病虫害の予防を心がけるとともに、食害の被害がみられる漁場においては、防除網等の対策を継続してください。

2 気象・海況

<水温> 1月22日 <水温> 1月23日 <潮位偏差> 1月22日

2～3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	7.9	℃	漁生研 (-1.0m)	10時水温	11.0	℃	名古屋港	日平均偏差	+1 cm
	平年差	±0	℃		平年差	+0.7	℃		5日平均偏差※	+1 cm

※1月18日～1月22日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	北部: やや多い、中南部: 少ない	なし	植物プランクトンは散見～多い
知多東岸地区	少ない	なし	植物プランクトンはやや多い
西三河地区	やや多い～やや少ない	なし	植物プランクトンは少ない
東三河地区	本年度の調査終了		

※基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い: 121～、やや多い: 81～120、やや少ない: 41～80、少ない: ～40

※植物プランクトン基準(単位: 細胞/mL) 多い: 10,000～、やや多い: 5,000～10,000、少ない: 1,000～5,000、散見: 100～1,000、ほとんどいない: ～100

<気温動向の予測> (気象庁週間天気予報より 予報期間: 1月24日から1月29日まで)

今後1週間	期間を通して平均気温が高くなる日が多いでしょう。
-------	--------------------------

3 クロリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病虫害 その他
知多西岸地区	冷蔵: 1～3回 一部秋芽: 3～4回	冷蔵: 300～1,000枚 秋芽: 900～1,600枚	製品はまずまず 漁場によって色調低下	カモ、魚	病虫害なし
知多東岸地区	秋芽: 4～5回 一部冷蔵: 1～2回	秋芽: 600～1,000枚 冷蔵: 400枚	概ね色調低下	なし	あかぐされ病は 一部でみられる
西三河地区	冷蔵: 1～2回 一部秋芽: 6～7回	冷蔵: 300～1,200枚 秋芽: 250～1,000枚	製品はまずまず クモリ気味	一部に カモ	病虫害なし
東三河地区	秋芽: 2～3回	1,000～1,500枚	色調はやや低下傾向	ほとんどなし	病虫害なし

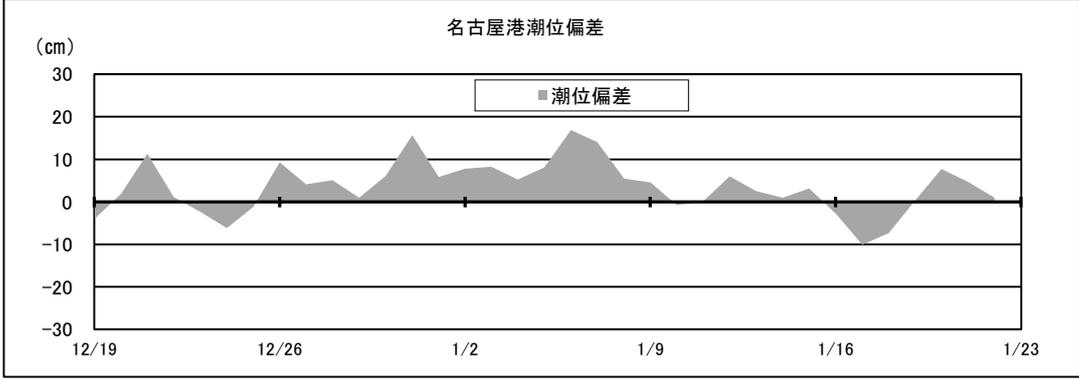
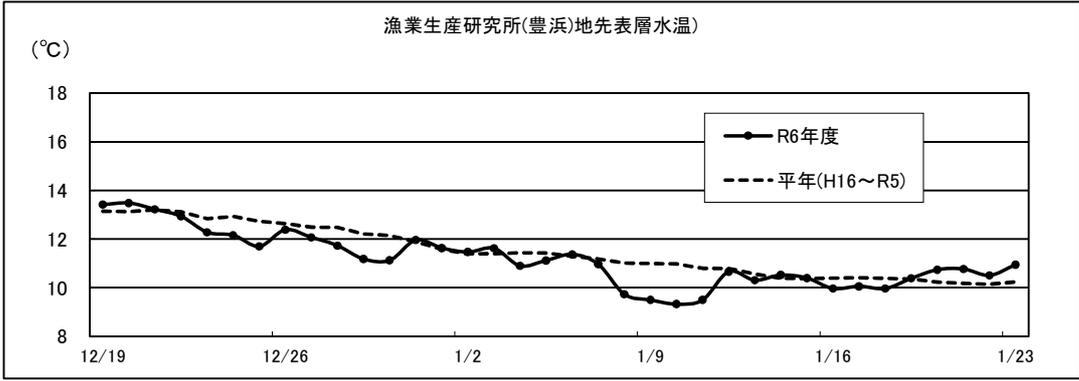
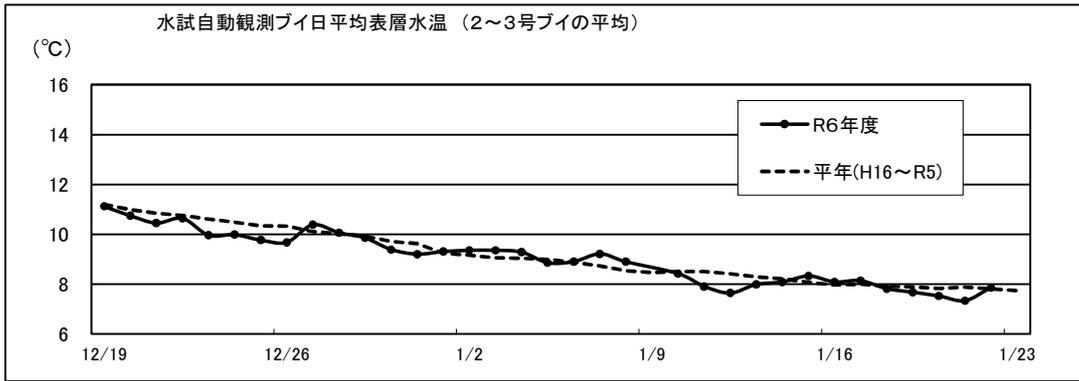
4 今後の管理

- ① 病虫害等の予防のため、適正な干出と早期摘採を心がけ、製品の向上に努めること。
- ② 製品の選別及び異物の検査を厳正に行うとともに、衛生管理に努めること。

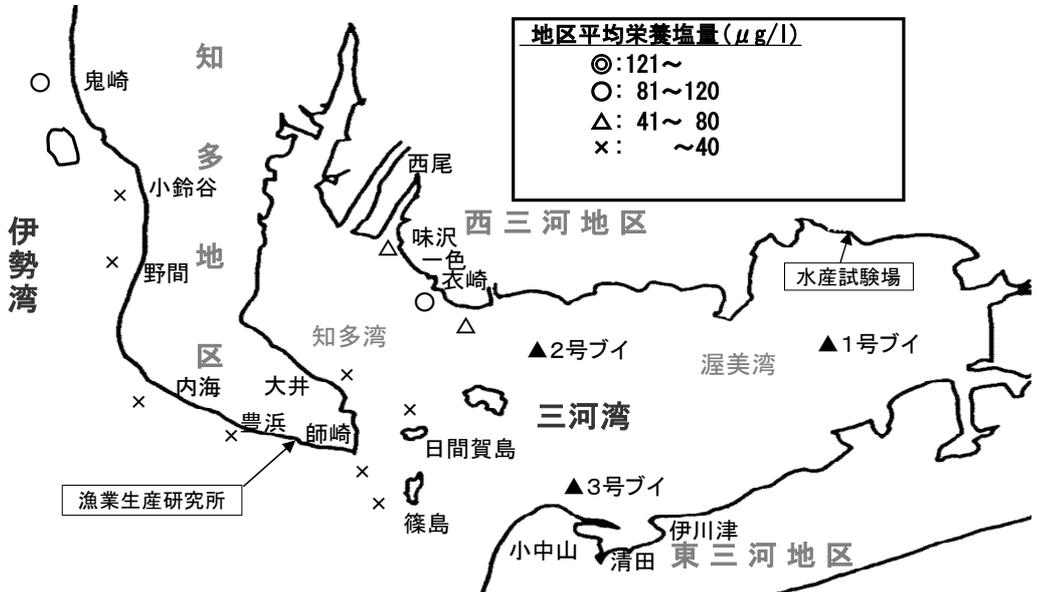
水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。
水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
次回は1月30日(木)発行予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査結果



栄養塩調査日: 知多: 1月23日(木) 西三河: 1月22日(水) 東三河: 調査終了
 調査機関: 知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会